

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 2 月 13 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0095
排出削減事業者名	株式会社 和染
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン 丸紅株式会社 (その他関連事業者名：株式会社 日本サーモエナー)
事業実施場所	株式会社 和染 染色工場 (住所：大阪府泉大津市式内町 8 番 28 号)
事業の概要	現在使用中の A 重油ボイラを、新しい都市ガスボイラへ更新し、併せて A 重油よりも単位発熱量あたりの炭素含有量が少ない都市ガスを利用することで、エネルギー消費量および CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度 18 tCO <sub>2</sub> 、2009 年度以降 42tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 186 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	開始予定日 2008 年 10 月 22 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論 001 「ボイラーの更新」

### 2. 本実績確認の対象期間

2008 年 10 月 22 日～2010 年 1 月 5 日 (第 1 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	49 tCO <sub>2</sub> (2008 年 10 月 22 日～2010 年 1 月 5 日)
-------	---

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
<p>排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること</p>	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合）</p> <p>承認排出削減事業計画通りに、A 重油ボイラーから都市ガスボイラーに燃料転換され事業が開始されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。また、ガス供給会社の請求書でも確認した。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認</p> <p>本実績報告期間においてエネルギー使用実績に基づく請求書や工場の運転状況報告、事業者への質問により、継続的に稼働していることを確認した。</p>
<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>排出削減量が当初の承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認</p> <p>現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、モニタリング記録の確認等により、方法論・承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性</p> <p>承認排出削減事業計画に従って、ガス供給会社の請求書により活動量が把握されていることを質問及び書類との突合、検算などにより確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認</p> <p>排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2008 年 10 月 22 日から 2010 年 1</p>

日を超えないこと	月 5 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えない。
----------	--

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

変更なし

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算-2.5klであることを確認した。

以上